

# 平成30年度 学校関係者評価のまとめ

北海道岩内高等学校

学校評議員の皆様へ、自己評価の適切さについて以下の観点で評価いただき、下表の回答欄にA～Dを記入してください。また、それぞれの分野・領域にのご意見等は記述欄にご記入ください

- 「自己評価の適切さ」 A:適切な評価である B:ほぼ適切な評価である  
C:やや不適切な評価である D:不適切な評価である
- 「改善に向けた取組の適切さ」 A:十分な効果が期待できる B:ほぼ十分な効果が期待できる  
C:あまり効果が期待できない D:効果は全く期待できず、改善を要する

## 1 本年度の重点目標

- (1) 伝統や校風を重んじる、知徳体のバランスの取れた生徒を育成する。  
 (2) 学ぶ意欲と確かな学力の向上を図り、たくましく生きる力を身に付けた生徒を育成する。  
 (3) 生涯を健康に過ごすために自らすべきことを理解して努力できる生徒を育成する。

## 2 本年度の経営方針

- (1) 教育活動の活性化に向けて、学校が意欲的・協働的な組織となるよう努める。  
 (2) 家庭・地域・関係機関との連携を深め、特色ある教育活動に取り組む。  
 (3) 学校の教育活動について広く情報を発信するとともに、学校評価を充実し、開かれた学校作りに努める。

## 3 自己評価結果

自己評価結果については、保護者アンケート及び生徒による授業アンケートを踏まえて、教員が4段階(十分である:A=4点 おおむね十分である:B=3点 不十分である:C=2点 改善を要する:D=1点)で評価したものを平均点しました。また、改善の方策については、教員からの意見等を参考に学校経営の観点から管理職が記述したものです。

## 回答欄

	評価項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
学習指導	1 指導内容の精選・充実につとめ、基礎・基本の定着を図っている。	2.9	2.9	・単位制を運用する上で不足していることの整理をするべきである。 ・単位制の制度を生かした特色ある教育課程を外部にアピールすべきである。 ・常に2年後の準備が必要である。 ・行事が多すぎて落ち着いて学習ができていない。 ・行事の精選が必要である。 ・多様な技能の育成をもう少し意識した学習活動が必要である。	3.0	3.3
	2 多様な興味・関心に応え、進路希望を実現するための学力の育成に努めている。	3.0	2.9	・組織的に授業改善や評価法に関する研修等を行い、組織として一歩前へ進んでいく必要がある。 ・Classiを有効活用するルールづくりや具体的な運用策を確立させる必要がある。	3.0	3.3
	3 学ぶ意欲が継続する授業や生徒一人一人に応じた学習指導の工夫・改善を図っている。	3.0	2.9	・教材研究と授業研究を両輪とし、良い授業づくりを各教員が意識すべきである。 ・生徒の実態を踏まえた分かり易いカリキュラムを整備すべきである。 ・Classi等を活用して、学力差に応じた補充指導をする必要がある。	3.0	3.3
	4 生徒の実態を踏まえた弾力的な教育課程を編成し、特色ある教育活動を展開している。	2.9	2.9	・成績上位層の生徒を少数精鋭で育て、成績下位層の生徒には、学び直しをする体制を作るべきである。	3.0	3.3
	5 学校行事等の精選を図り、授業時間数を十分確保している。	2.9	2.9		3.0	3.3
外部評価者の意見等	概ね十分だと思います。					
生徒指導	6 服装・身なり、挨拶・礼儀を含めて、基本的な生活習慣を確立し、自ら正しく判断し、主体的に行動できる生徒を育成している。	2.6	2.9	・保護者の意見に対しては、なぜそうなのかを分析し周知すべきである。 ・親自身の理解不足をこちらが把握すべきである。 ・保護者との日常的なやりとりが大切であると考えられる。	3.0	3.3
	7 家庭や地域との相互理解と信頼の保持に努め、広域的な生徒指導の連携に努めている。	3.0	3.0	・学級通信や学年通信等でもっと日常の様子を伝えるべきである。 ・生徒が落ち着き指導を聞き入れるケースが増えてきているので、これからは、「他者への配慮・思いやり」を育てる機会を増やすべきである。	3.0	3.3
	8 生徒と教師、生徒同士の心の触れあいを大切に、いじめなどのない望ましい人間関係の確立に努めている。	3.0	3.0	・教員間の共通理解を強化する必要がある。(着任教員への説明会の実施等) ・部活動を精選するべきである。	3.0	3.3
	9 傾聞や共感に基づく生徒理解を大切に、個人面談や教育相談を充実させている。	3.2	3.2	・スマホ預かり指導は継続すべきである。 ・良いことは良いと人前で褒めて、悪いことは別室で指導するほうが良い。 ・家庭への連携や啓発を強化すべきである。	3.0	3.3
外部評価者の意見等	「項目6」に力を入れてください。					

進路指導	10	進路意識の早期醸成と組織的・計画的な進路指導を推進するなど、キャリア教育を充実させている。	2.8	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育を進路指導部へ丸投げしないで、3年間を見通したキャリア教育を学校全体で考えるべきである。</li> <li>・総合的な探究の時間も含め、カリキュラムマネジメントの観点で、全校的に改善を図る必要がある。</li> <li>・インターシップの事前・事後指導をもっと充実すべきである。</li> <li>・学年主導ではなく、進路または委員会主導での3年間を見通した系統的な指導が必要である。</li> <li>・講習、模試だけに頼らない継続的な学習指導や資格指導が必要である。</li> <li>・教務と連携し、科目選択ガイダンスを計画的に行うべきである。</li> </ul>	3.0	3.3
	11	研修会・説明会・資料などの効果的活用を図り、早期の進路目標設定や自主的・計画的な進路対策を指導している。	2.8	3.0		2.7	3.0
	12	講習・模試・説明会・模擬面接など、多様な進路希望に対応する指導を行っている。	3.2	3.3		3.0	3.7
	13	生徒や保護者、地域の期待に応える進路実績を残している。	2.8	3.0		3.0	3.3
外部評価者の意見等	インターンシップに力を入れてください。						
健康・安全指導	14	校舎内外の環境を整備し、落ち着いて学ぶことができる教育環境の保持に努めている。	3.0	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組は概ね十分と考えるが、教員の意識とそれに伴う指導の差が生徒やクラスの状態に反映されるため、教員の意識改革が必要である。</li> <li>・PTAや地域との連携や情報発信をもっと強化すべきである。</li> <li>・ガムの吐き捨てやタバコの吸い殻をなくし、不審者対応を強化し、安心安全が環境づくりが必要である。</li> </ul>	3.0	3.3
	15	生徒の環境・美化意識を高め、生命や他人の人権を尊重する意識を育てる教育を行っている。	2.8	2.9		3.0	3.3
	16	体力・運動能力の向上を図るとともに、食育や健康教育の充実に努めている。	2.9	3.1		3.0	3.3
	17	性・薬物・交通安全などについての安全教育を充実させている。	3.3	3.4		3.0	3.7
外部評価者の意見等	特にありません。						
組織運営	18	全教職員が共通理解のもと学校経営や教育活動に工夫をこらし、魅力ある学校づくりに取り組んでいる。	2.6	2.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボトムアップを図る職場なのか、何とも言い難い感じがするが、連携が必要である。</li> <li>・働き方改革について、21時完全退勤を徹底すべきである。</li> <li>・部活動の活動時間を守る等を徹底すべきであり、個人的には、朝練習はしないほうが良い。</li> <li>・各分掌のリーダーシップが必要である。</li> <li>・業務の偏りを改善して欲しい。</li> <li>・共通理解ができるような様式等を作る必要がある。</li> <li>・科目選択ガイダンスをいつまでに行うのか等、見直しを持ったシステムにするべきである。</li> </ul>	2.7	3.0
	19	教職員の協働意識を高め、組織としての指導体制の充実を図っている。	2.5	2.4		2.7	3.0
	20	各学年・分掌との連携を深め、全校的な進路指導体制を強化する。	2.7	2.9		2.7	3.0
外部評価者の意見等	評議員として、先生方との交流がないので、機会を作ってください。						
研修	21	校内研修を充実させたり、各種研修会などへ積極的に参加したりするなど、教職員の資質向上を図っている。	2.8	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人研修・研究を積極的に行い、個々の資質能力を育成することが必要である。</li> <li>・今の課題に対する研修が必要である。</li> <li>・研修には行きづらいと感じる。</li> <li>・各教科で授業実践の研修をするべきである。</li> </ul>	3.0	3.3
外部評価者の意見等	特にありません。						
地域住民との連携	22	保護者、保護者・地域との連携を深めるとともに、PTA活動の円滑な運営に努めている。	3.1	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の意識はどうか変化しているのか分析する必要がある。</li> </ul>	3.0	3.3
外部評価者の意見等	特にありません。						
施設・設備	23	施設・設備の保全を図り、有効な活用を図っている。	3.1	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTの設備を整備すべきである。</li> </ul>	3.0	3.3
外部評価者の意見等	特にありません。						
その他	24	教育活動について広く情報提供を行うとともに、学校評価の公表をはじめとする開かれた学校づくりを推進している。	3.0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隔月だけでも学校の様子を広報的に知らせてはどうか。</li> <li>・広報については、報道やSNSの活用も含め検討する必要がある。</li> <li>・役割分担を明確にし、広報委員会をもっと活性化すべきである。</li> </ul>	3.0	3.3
	25	体験的活動やボランティア活動を充実させ、コミュニケーション能力を育む取組を推進している。	2.9	2.9		3.0	3.3
外部評価者の意見等	特にありません。						